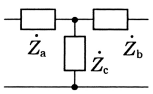
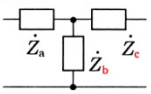
《正誤表》

書名　：　1･2 陸技受験教室①　無線工学の基礎（第 2 版）
版数　：　第 2 版 4 刷（2010 年 5 月 20 日）

頁	場 所	誤	正
58	下から 4 行目	② インダクタンスが L〔H〕のリアクンタス:	② インダクタンスが L〔H〕のリアクタンス:
74	図 2･60 （T 形）	T形  図2･60	T形  図2･60
84	下から 5～4 行目	1　$R+jX_L$　2　$(R_2+X_L^2)/R$ 3　$X_L/(R_2+X_L^2)$　4　X_L/R　5　図 2 6　$R-jX_L$　7　$R/(R_2+X_L^2)$ 8　$(R_2+X_L^2)/X_L$　9　R/X_L　10　図 3	1　$R+jX_L$　2　$(R^2+X_L^2)/R$ 3　$X_L/(R^2+X_L^2)$　4　X_L/R　5　図 2 6　$R-jX_L$　7　$R/(R^2+X_L^2)$ 8　$(R^2+X_L^2)/X_L$　9　R/X_L　10　図 3
85	上から 3 行目	$\dot{I}=\dot{V}\left(\frac{R}{R^2+jX_L{}^2}-j\frac{X_L}{R^2+jX_L{}^2}\right)$ [A]	$\dot{I}=\dot{V}\left(\frac{R}{R^2+jX_L{}^2}-j\frac{X_L}{R^2+X_L{}^2}\right)$ [A]
122	上から 2 行目	りも波長の短い柴外光の方が大きい.	りも波長の短い紫外光の方が大きい.
126	下から 7 行目	電子極に入る。	電極に入る。
166	下から 2 行目	$\dot{Z}_3$ に水晶振動子，$\dot{Z}_2$ に共振回路を入れ,	$\dot{Z}_1$ に水晶振動子，$\dot{Z}_2$ に共振回路を入れ,
195	上から 6～7 行目	信号源の内部抵抗を r_g とすれば，$Z_o=V_o/(i_b+h_{fe}i_b)=r_g i_b/i_b(1+h_{fe})\fallingdotseq r_g/h_{fe}$ となる.	信号源の内部抵抗を r_g として，h_{ie} を考慮すれば，$Z_o=V_o/(i_b+h_{fe}i_b)=(r_g+h_{ie})i_b/i_b(1+h_{fe})\fallingdotseq h_{ie}/h_{fe}$ となる.
199	最下行	このような回路を**ボルテイジホロワ**と呼ぶ.	このような回路を**ボルテージホロワ**と呼ぶ.

版数　：　第 2 版 5 刷（2011 年 5 月 20 日）

頁	場 所	誤	正
32	下から 2 行目	〔V/m〕で $V=1.36\times10^3$〔V〕のときの	〔V/m〕で $V=1.35\times10^3$〔V〕のときの